

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

エコロジーハウス 山形

グループの名称

エコロジーハウス 山形研究会

直近採択グループ番号

06-0309-0121

(グループ代表者)

代表者名	浅香 一友	代表者印
代表者所属先	株式会社ジューテック山形営業所	
代表者所在地	山形県山形市小姓町6-13	
代表者電話番号	023-623-8190	

(グループ事務局)

事務局事業者名	立花産業株式会社	
事務局担当者名	金内 貴樹	印
事務局郵便番号	998-0072	
事務局所在地	山形県酒田市北浜町4-7	
事務局電話番号	0234-33-2333	
事務局FAX	0234-33-2338	
事務局担当者E-mail	t-kanauchi@tachibanasangyo.jp	

1. 地域型住宅の名称(必須)	エコロジーハウス 山形
2. グループの名称(必須)	エコロジーハウス 山形研究会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0309-0121
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	山形県
5. 結成年(必須)	2016 年
6. グループ代表者名(必須)	浅香 一友
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社ジューテック山形営業所
8. グループ代表者所在地(必須)	山形県山形市小姓町6-13
9. グループ代表者電話番号(必須)	023-623-8190
10. グループ事務局事業者名(必須)	立花産業株式会社
11. グループ事務局担当者名(必須)	金内 貴樹
12. グループ事務局郵便番号(必須)	998-0072
13. グループ事務局所在地(必須)	山形県酒田市北浜町4-7
14. グループ事務局電話番号(必須)	0234-33-2333
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0234-33-2338
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	t-kanachi@tachibanasangyo.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	2	
II. 製材・集成材製造・合板製造	4	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	4	
IV. プレカット	2	
V. 設計	9	
VI. 施工	11	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPPC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1. 都道府県の産地認証制度等によるもの 2. 民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3. 林野庁作成の「木材・木村製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成16年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4. クリーンウッド法に基づき合法であることが確認された木材・木村製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材	3	国内		
		外材	3	国外		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	4	国内		
		外材	4	国外		
	山形県産材	山形県	県産木材「やまがたの木」認証制度	1	国内	
	山形県産材	山形県	県産木材「やまがたの木」認証制度のうち山形県産業成材	1	国内	
宮城県産材	宮城県	合法木材証明制度	4	国内		

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
			高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸
						加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸
							上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
						その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸
						加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
							上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		10	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積	0棟	/				
				0㎡					
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0棟		0㎡			
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) エコロジーハウス 山形	(地域型住宅供給対象地域) 山形県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) エコロジーハウス 山形研究会	(結成年) 2016 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0309-0121	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	山形県、特に内陸部は夏と冬で気温差が大きい地域となっている。さらに山間部も多く、冬は積雪が多く夏季には大雨になることもある。そのような厳しい気象条件にある地域のため、平成28年省エネルギー基準に対応した住宅に取り組む。また、全棟で一次エネルギー消費量計算を実施することで、住宅の省エネ性能の向上とグループの構成員の省エネ意識の向上を図る。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	ここ数年、全国的に深刻な被害をもたらす地震が発生しており、住まい手の意識も住宅そのものの耐震性のみならず、地盤に至るまでに高まっている。そのため、全棟で地盤調査を実施し、住まい手が安心して暮らすことができるような工夫を行う。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	対象地域は多雪地域になるため、設計段階で雪対策を考慮した建物デザインとする。また、緑豊かな山形県の地域型住宅として、地域材である山形県産材を主要構造部の柱・梁・桁に優先的に使用する。	◎
④①～③の背景	山形県内陸部は、周りを山々に囲まれた盆地地域のため、夏は暑く冬は寒く寒暖の差が激しい。さらに、山間部も多いため、豪雪地帯にもなっている。そのため、夏冬の光熱費や、冬の除雪作業は、住まい手の大きな負担になっている。また、山形県では「やまがたの木」認証制度があり、県産材使用による利子補給や補助金の制度がある。それを住まい手へのメリットとして還元し、同時に構造材に使われる杉の産地として、山形県が森林資源に恵まれ、自然豊かな地域であることのPRを図る。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	ゼロ・エネルギー住宅、認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅の高度省エネ化住宅の場合でも、長期優良住宅化に資する措置のうち、耐震等級2以上、劣化対策等級3、維持管理対策等級3(いずれもグループ構成員による自己評価)のいずれか1つ以上に取り組む。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 設計モジュールは尺モジュールを基本とし、構造柱である4寸柱や3.5寸柱は在庫として確保し、スムーズな納材を行う。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 高性能断熱材・高性能サッシ・高性能設備のパッケージ化を行い、コストダウンと同時に、グループとして提供する地域型住宅の省エネ性能の向上を図る。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 商品の写真や性能の数値、メーカーや品番などを標準仕様として設定し、住まい手に対して、魅力的かつ分かりやすい地域型住宅のプレゼンテーションを行う。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 標準仕様のパッケージ化を行うことで、共通の高性能建材・設備の導入を図り、メーカーからの特価購入でコストダウンを行い、それを住まい手に還元する。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 標準仕様のパッケージ化を行うことで、共通の高性能建材・設備の導入を図り、原本供給・製材・設計・施工事業者と連携して、安定した供給を図る。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 生産の合理化に向けて、検討委員会を設置し、検討を行う。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局が各業者間に立って、地域型住宅の標準仕様・基準ルールや住宅情報の共有を行う。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 住宅省エネルギー技術講習会(施工編)の学習内容をもとに、施工方法の現場レベルでの周知徹底を図り、断熱・機密に優れた施工に取り組む。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: インспекションの資格取得者による現場検査を行う。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 見積書の明細を「一式」表示ではなく内訳を明示することで、透明性の高い、住まい手にも分かりやすい見積書を作成する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 住まい手に向けて、地域型住宅(長寿命型・高度省エネ型とも)におけるメリットの情報を発信し、住まい手から構成員に向けた信頼感の向上を図る。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 余裕のある工事の日程を組み、週休2日制の導入を検討する。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 技能や経験を評価できる体制を整え、それにふさわしい処遇を実現するように努める。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 現場作業者は社会保険へ加入するよう推奨する。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 現場作業時は安全に作業できるよう点検や確認に努める。また、夏季の熱中症や冬季の落雪にも十分留意する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	事務局は、未経験工務店による地域型住宅の取り組みを推奨するために、長期優良住宅・認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の認定申請のサポート、ゼロ・エネルギー住宅のBELS評価書取得のサポート、またそれに関わるプランニングのアドバイスを行う。さらに、BELSを取得したことがない施工構成員のBELS主t句を推奨し、それをサポートする。2020年に向けて、施工構成員の全社が「BELS工務店」となるように働きかける。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) エコロジーハウス 山形	(地域型住宅供給対象地域) 山形県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) エコロジーハウス 山形研究会	(結成年) 2016 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0309-0121		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 引き渡し後30年後までの維持管理計画書を作成し実施する。	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報管理会社による住宅履歴情報蓄積サービスを活用する。	◎
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ID管理により履歴情報を容易に確認できるようにする。	◎
	② メンテナンス基準		
	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期点検の際に、仕様部材のマニュアルに応じた定期点検を行う。	◎
	②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期点検の際に、仕様部材のマニュアルに応じた補修を行う。	◎
	②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報蓄積サービスを活用し、点検補修の確認を行う。	◎
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まい手向けイベントで勉強会を実施し、自身での軽微なメンテナンスを促す。	○
③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まい手向けイベントでDIY体験会を実施し、自身での軽微なメンテナンスを促す。	○	
③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まい手向けイベントで相談会を実施する。	○	
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 委員会を設置し、性能や施工とともに、維持管理方法についても検討する。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 工務店は住まい手に維持管理方法を説明書をもとに説明する。	◎	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局を中心にグループの構成員から代替業者の紹介を行い、住まい手にも十分な説明を行う。	◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅瑕疵担責任保険法人から講師を招き、勉強会を実施する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	定期点検を行うことで、住まい手にも工務店にもメリットがあることを理解し、維持保全計画に基づいた適切な点検が行われるように、工務店向けの勉強会を開催する。		○
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域型住宅の施工技術講習会を開催する。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅省エネルギー技術講習会(施工編)のテキストに基づく施工を行う。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 委員会で対象住宅についての確認を行う。	◎
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域型住宅の建設促進のために、標準仕様・基準ルールの徹底を図る。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 委員会を中心に、新製品・新技術の積極的な導入を図り、技術力の向上を目指す。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 物件情報の基本情報を共有する仕組みを構築することを検討する。	◎
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 5
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 5 今年度の参加目標人数 5	○
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で未受講者を把握し、パンフレットやWEBページを紹介し、参加を促す。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 外皮強化型のグループ基準を設け、採用を検討する。	◎
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 将来的に新技術開発をできるような土台作りを行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	各構成員が、住宅省エネルギー技術講習会(施工編)を受講し、現在の自社の標準仕様の省エネ性能がどれほどのものなのかを理解する。それによって住まい手にも具体的なかつ説得力のある説明・提案を行うことができるようになる。また、できるだけ多くの構成員が外皮計算、一次エネルギー消費量計算を自社で行うことができるようになる。		◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) エコロジーハウス 山形	(地域型住宅供給対象地域) 山形県													
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) エコロジーハウス 山形研究会	(結成年) 2016 年													
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0309-0121														
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。															
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
a	地域材利用に関する														
①	共通 ルール(必須)	山形県産の杉・杉集成材、宮城県産の杉、または合法木材(国内・国外)を主要構造材として、柱・梁・桁に使用する。その際、山形県産材・宮城県産材を優先的に使用する。	◎												
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎												
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明	<p style="text-align: center;">「やまがたの木」 認証制度</p> <p>※図のように、地域材の供給ルートには様々なバリエーションがあり、一部の業種グループを経由しない地域材の供給ルートがある。</p>													
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり、地域材の在庫量の確保と、在庫量の情報を共有できる体制をとる。	◎												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 製材事業者は価格の安定に努め、変動がある場合は事務局を中心に情報の共有を行う。	◎												
	② グループ全体における地 域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 補助金申請時に事務局が地域材の使用量を把握し、各事業者に情報の共有を行う。	◎												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 客間や寝室としての和室を検討し、畳を活用する。	◎												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 屋根材としての和瓦の利用を検討する。	◎												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 客間や寝室としての和室を検討し、襖を活用する。	◎												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 客間や寝室としての和室を検討し、障子を活用する。	◎												
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域材である山形県産材を重点的に活用する。	◎												
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 山形県産材の無垢材を内外装デザインに取り入れることを検討する。	◎												
d	① 地域の伝統的なデザ インを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 古くからの街並みを残す地域については、景観に配慮したデザインを検討する。	◎												
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 住宅の間取りに合わせて、伝統的な木造工法の利用を検討する。	◎												
	③ 地域の街並み形成へ寄 与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 各地域自治体が推進する景観等のガイドラインに準ずるように配慮する。	◎												
	④ 和の住まいの要素を取 入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 省エネ性能向上のための日射コントロールの一環で、すだれ・よしずの活用を検討する。	◎												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。	未経験工務店に対して、事務局・設計・委員会などが、設計・施工に関してのサポートの体制を作り、地域発展のためにも、地域型住宅の普及に努める。また地域材の積極的な活用を進めることで、地域の木材業者の活性化を図る。	◎												
カ. その他															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
東日本大震災の復興に資する取組	地域材として宮城県産材も登録を行い、宮城県内の原木供給業者・製材事業者・プレカット事業者と連携し、宮城県産材の普及に取り組み。	◎													
平成28年熊本地震の復興に資する取組	内装材・外装材など、伝統的な和の素材を取り入れる際は、熊本県産の素材の導入を検討する。	○													

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) エコロジーハウス 山形	(地域型住宅供給対象地域) 山形県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) エコロジーハウス 山形研究会	(結成年) 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0309-0121	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

当会のある山形県は今年度から『やまがた健康住宅』という基準を設け、ヒートショックや健康疾患対策と、エネルギー削減に取り組んでいる。また、この基準を『山形の家づくり利子補給制度』の制度基準として定め、県内の住宅の断熱性能強化を図っている。

やまがた健康住宅基準について

山形県総合住宅支援サイト タテッカーナより
https://www.pref.yamagata.jp/tatekkana/support/kenkou/standard.html

対象住宅

「新築住宅」及び「断熱改修を全体的に行う既存住宅」

やまがた健康住宅基準

やまがた健康住宅基準は、外皮平均熱貫流率 (UA値) と隙間相当面積 (C値) という指標により、3段階のレベルを設定しています。

その他、詳細は「やまがた健康住宅基準」をご覧ください

やまがた健康住宅基準

レベル	外皮平均熱貫流率 (UA値)	隙間相当面積 (C値)
I (★★★)	3地域 0.24W/m ² K以下	2cm ² /m ² 以下[推奨1cm ² /m ² 以下]
	4地域 0.28W/m ² K以下	
II (★★)	3地域 0.28W/m ² K以下	
	4地域 0.34W/m ² K以下	
III (★)	3地域 0.38W/m ² K以下	
	4地域 0.46W/m ² K以下	

当会では、認定低炭素住宅や性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、それぞれの基準とともに、上記の基準を目指し、高度省エネ型住宅の建設に取り組む。

また、事務局を中心に流通は、住宅の断熱強化に向けて、新たな製品の提案やメーカーとの価格交渉を行い、施工事業者のサポートを行う。

住宅種別	長期優良住宅	ゼロ・エネルギー住宅	認定低炭素住宅	性能向上計画認定住宅
追加措置	一次エネルギー消費量計算※1	長期優良住宅化に資する下記措置のうち、いずれか1つ以上に取り組む		
		・耐震等級2以上 ※2 ・劣化対策等級3 ※2 ・維持管理対策等級3 ※2		
		地盤調査の実施 メンテナンス計画書の作成		
地域型住宅	本会が定める「地域型住宅」とする			
		※1 構成員または事務局による自己評価		
		※2 構成員による自己評価		

さらに、高度省エネ型の際も、長期優良住宅化に資する措置のうち、表に記載の3項目のうちいずれか1つ以上に取り組む。また、全棟での地盤調査の実施や、メンテナンス計画書の作成を追加措置として、地域型住宅の普及に取り組む。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。